

Special 新エネルギー

省エネの取り組みとして、無駄な消費を抑える以外に、エネルギーを自ら生み出す方法があります。太陽光発電をはじめとする新エネルギーは、太陽や自然の力を利用し、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効に活用する方法です。

市では、導入促進を図るため、家庭用新エネルギー設備を設置したときの費用の一部を補助する制度を実施しています。また、ハイブリッド自動車をはじめとするクリーンエネルギー自動車の購入費用の一部を補助する制度も実施しています。

◆家庭用新エネルギー設備設置事業補助金

対象設備

- 住宅用太陽光発電システム
- エコウィル(家庭用ガスエンジン給湯器)

◆クリーンエネルギー自動車購入費補助金

対象車種

ハイブリッド自動車、電気自動車、天然ガス自動車、燃料電池自動車、メタノール自動車



◀エコウィル

▼ハイブリッド自動車



※補助制度の詳細な内容は環境政策課(☎382-9014 📠382-2214)へお問い合わせください。

新エネルギーを導入されている方を訪ねました!



大矢翼さん・奈緒美さん 夫婦 (弓削一丁目)

半年前の新築時に「住宅用太陽光発電システム」と「家庭用ガスエンジン給湯器(エコウィル)」を導入

～新エネルギーの設備を導入しようと考えたきっかけは?

住宅会社がキャンペーンをしていたので、新築時に導入しました。環境問題には興味があったので、たとえ設備投資の元が取れなくても、月々の電気代が多少でも安くなればよいなと思いました。

～結果はいかがでしたか?

太陽光発電システムでは現在のところ「売る電力」が「買う電力」を少し上回っています。エコウィルで発電した電力は、家庭内の電気として使っているので、その分「買う電力」が少なくなっているわけで、両方の効果には満足していますね。

～環境に対する意識は変わりましたか?

以前と比べて、妻が節電に厳しくなりました(笑)。それは冗談として、道具が人の意識を変えるところがあると思います。発電量を示すモニターを見て、今日はこれだけ達成しようというふうに目標を立てて、生活するようになりました。節電の努力が数字に表れてくるので、やりがいがあります。

これから夏を迎えますが、暑くなればエアコンなどの消費電力量が増えます。でも、日差しが強くなったぶん発電量も増えることでしょう。新居で迎える初めての夏を楽しみにしています。

省エネルギーへの取り組み

今回の特集の最後に、環境部長から、市が行う省エネルギーの取り組みを中心に話を聞きました。

□市の施設の電力使用量

平成22年度・23年度の7～9月分の実績比較 (kWh)

	7月	8月	9月	合計
平成22年度	2,926,333	3,047,759	2,992,203	8,966,295
平成23年度	2,757,599	2,816,394	2,769,169	8,343,161
前年比(%)	94.23	92.41	92.55	93.05
増減率(%)	△5.77	△7.59	△7.45	△6.95



鈴鹿市環境部長 永戸栄治

■省エネへの市の取り組み

市では「鈴鹿市環境マネジメントシステム(Suzuka-EMS)」に基づき、電気をはじめとするエネルギーの使用量を月別に記録し、前年度より増加したときは、対策を講じて改善を図るよう、省エネと環境管理に取り組んでいます。

電力不足が懸念され、節電が呼び掛けられた昨年の夏季(7月～9月)には、市の施設の電力使用量を3%削減することを目標に掲げ、各職員が積極的な節電に努めた結果、前年度比で6.95%削減することができました。今年も各職場が一体となって、省エネに取り組んでいきます。

鈴鹿市環境マネジメントシステム(Suzuka-EMS)のページ

↑ <http://www.city.suzuka.lg.jp/gyosei/plan/kankyousei/ems/index.html>

■ピークカットに協力をお願いします

夏季の日中は、冷房需要が増加し、特に13時から16時ごろにかけて全体の電力需要が最も高まります。電力需要が電力供給を大きく上回ると、電力の安定供給に問題が生じ、停電などにつながる恐れがあります。そのため、この時間帯にできるだけ電気を使わず、電力の最大使用量を抑えること(ピークカット)が必要とされています。

市役所も一つの事業所として、今夏の電力需要のひっ迫に対処するため7月から9月の間、環境部門の3事業所(写真左から清掃センター、リサイクルセンター、クリーンセンター)が連携し、使用電力のピークカットとピークシフトを行います。市民の皆さんにも、同時時間帯における節電につきまして、ご協力をお願いします。

■省エネのもたらすもの

それぞれの家庭で省エネに取り組んでいただくことは、地球温暖化防止に大きな役割を果たします。市では今後も、市民の皆さんと共に、さまざまな角度から省エネや地球温暖化防止に取り組んでいきますので、ご協力をお願いします。



今夏、ピークカットとピークシフトに努める
清掃センター、リサイクルセンター、クリーンセンター

広報すずか特集「省エネルギー」についてのご意見、ご感想は環境部環境政策課へ。

☎ 382-9014 ☎ 382-2214 ✉ kankyouseisaku@city.suzuka.lg.jp